

講演と懇親の集い 9/14(金) 明治記念館

建廃協恒例の「講演と懇親の集い」が9月14日(金)に300名超の参加者を迎え明治記念館で開催されました。この集いは、排出事業者、行政、関係諸団体の方々を招き、昭和62年から20有余年の歴史をもつ、建廃協の大イベントです。島田理事長の開会の挨拶、公益社団法人全国産業廃棄物連合会の石井邦夫会長の来賓挨拶から講演の部が始まりました。今年は「放射能問題にどう向き合うか～福島原発事故を受けて～」をテーマに掲げ、環境省関東地方環境事務所の鈴木克彦課長、国立環境研究所の山田正人室長が講演しました。

鈴木課長は、まず東日本大震災の被害状況、災害廃棄物への取組、マスタープラン、災害廃棄物の処理に関する特措法制定までの一連の流れを紹介。続いて、「災害廃棄物処理と放射能汚染」として、放射能に関する基礎知識から福島県内での状況の紹介、放射性物質汚染対処特措法による廃棄物処理と除染について時系列的に解説しました。最後に災害廃棄物処理の進捗状況を示しながら、平成26年3月の処理完了に向け、広域処理の必要性を訴えました。鈴木課長は、昨年の大震災以降、福島県の第一線で取り組まれて来ました。その経験を踏まえた講演は説得力もあり、これまでの国等の取組を整理するうえでも、大変に参考になるものでした。

山田室長は、長年の廃棄物処理の研究を踏まえ、建設廃棄物の物流を分析し、その中で中間処理(破碎・選別)の重要性を強調。廃棄物物流における環境保全として、生産側への「汚染の伝搬」並びに処分場への「負の遺産化」の防止のために、重金属等有害物や不純物の精度の高い分離の必要性を示しました。続いて、福島原発の事故の状況、放射性物質の飛散・移動を予測、これまでの有害物質に加え、放射性物質も管理することが重要として、これらのものを「濃縮・集約・隔離保管、または特定の地域で管理利用することで制御されず希釈・拡散されるのを最小限にすべきである」と結びました。講演を聞いて、参加者からは「時期を得たもの」「興味深い話だった」等々、好評な感想を多くいただきました。参加した方々の今後の業務に生かされれば、主催者としてうれしい限りです。

[講演資料はこちらです。](#)



懇親の部では、廣木様(環境省)、前佛様(国交省)、米谷様(日建連)、にご挨拶をいただき、竹島様(建設六団体)の乾杯のご発声で歓談が始まりました。お料理お酒とともに親睦を深めました。

- 9:30 明治記念館到着。すでに事務局は待機、昨日配布資料等を積み込んだワゴン車も到着していた。
- 10:00 集合の30数名の実行委員も三々五々集合、さっそく荷物の運び込み作業開始。
- 10:00 小林(副理事長)実行委員長の挨拶で朝礼をスタート。本日の段取りを説明。全員で講演会場での配布資料の並べ作業。例年と異なり、今年は資料持ち帰り用の封筒に代え、「グラッパ」(注)を配布するため、配布資料6種類はすべて席におく。段取りは事前打ち合わせなく事務局で決めたため、多少混乱したが人数が多くあつという間に終了。その後、受付班、案内班に分かれ、個別の打ち合わせと準備。私はその間も今年のトチリを繰り返さないよう開会の挨拶を復唱するが、気持ちの集中ができないまま。その間リーダーからやはり事前打ち合わせが必要だとの指摘があった。
- 11:30 実行委員は昼食。私は、講演者と一緒に昼食をとることにしていたため、お預け。
- 13:00 14:00の開会に向け実行委員はスタンバイ。理事も担当場所で待機した。私は控室で来賓待ち。控室にいられた来賓は数名ではあるが、お相手する理事が足らず、私があちらこちらと渡り歩き、来賓にはかえって失礼だったかもしれない。13:30過ぎに講演者が到着、一安心。だが結局昼食抜き。
- 13:55 控室から会場に。参加者の出足が悪く開始時間を遅らせる。この間に気持ちを落ち着かせ、開会の挨拶の復唱を試みるが、どうしても苦手意識が先にでる。14:05いよいよだ。登壇したものの、やはり考えていた言葉が素直に出てこない。トチリトチリで、ようやく挨拶を終える。今年もダメだ。終わってホッとした気分と後悔の念。
- 16:50 講演も終わりに近くなり、懇親会のお迎えのために少し早く講演会場を出る。懇親会場で待つが理事がそろわない。案内係と集まってきた理事で懇親会に誘導する。お客様の流れが今一つスムーズにいかない。
- 17:00 懇親会の開会。また、私の挨拶から始まる。お客様も飽きると思う。やはり人を変えるべきだ。それでも何とか終えた。続いて来賓の挨拶。日建連の米谷部会長から、新自主管理システムの取組の評価とハッパが。組合員にとってしびれるような挨拶だった。今年は特に企画の無い懇親会であったが、無事終了。18:30に中締め。お客様をお見送り。
- 19:00 実行委員だけの打ち上げ。私は懇親会でお役御免とばかり、打上げはお任せでゆったりと過ごす。終わり近く、リーダーの一人から実行委員へのねぎらいがないとの指摘。そうだった、理事長としては、今日もっとも貢献した実行委員の人たちを評価し、また、総括をすることがこの打上げで必要だった。「自分一人が疲れた」ではダメ！最後まで反省の1日であった。3次会まで行って解放されたのが10:00過ぎ、私の長い1日がようやく終わった。

(注)「ぐらっときたらぱつとかぶる」というところから命名されたグラッパとは、市販されている認定防災頭巾を上回る衝撃吸収率を備えた防災エコバックです。



お知らせ

- ・白川鉄工株式会社(コンテナ制作の会社)が賛助会員となりました。
- ・慶弔規程を掲載しました。
- ・10月21日、組合員、従業員家族対象にバーベキュー大会を開催します。参加申込お待ちしております。
- ・11月9日、組合員向け第3回エコドライブ講習会を開催します。参加申込お待ちしております。
- ・11月20日、安全大会に代わる講習会第2弾「首都高速の安全な走行について」の講習会を、管理者向けに開催します。詳しくは決まり次第お知らせいたします。
- ・建慶協では、NEWSに載せてほしい事柄、また載りたい方も募集中です。どんなことでもかまいません。感想などもぜひこちら→ jimukyoku@kenpaikyo.or.jp まで。